科目名	ファッション造形基礎		学年	類型・コース	単位数
			2年	自由選択1・家庭(専門)	2単位
学習の目標	被服の構成, 被服材料の種類や特徴など製作に関する知識と技術を習得する。 ファッション造形に関する基礎的な能力と態度を育てる。				
教科書 副教材	主たる教材:「ファッション造形基礎」(実教出版) 副教材:なし				
評 価	評 価 法	定期考査・実技テスト・製作・実習態度・ワークシート・ファイル等で評価します。			
	評 価 観 点 の 趣 旨	a	知識・技術	衣服の構成・材料、製作について理解し、衣服製作に必要な基本的知識を身につけている。人体の構造・機能、動作時のゆるみ等と衣服の関係について理解ができています。	
		b	思考・判断・表現	衣服の製作について、自分の考えをまとめ、目的に応じた材料・デザインなどを判断する力を身につけている。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	衣服の構成・材料・製作に関心をもち、衣生活の充実に向けて意欲的に取り組み、衣服を製作する態度を身につけている。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評点(1~10の10段階)にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評点(1~5の5段階)にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・ 単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学 期	4月	6	衣服の構成	被服構成、材料の種類や特徴など製作に繋がる知識を習得する。	製作 ワーク シート 期 末 考 査	製作 ワーク シート グ ル ー プ ワ ー ク	発表 ワーク シート ファイ ル
	5月	8	人体と衣服	人体の構造や機能、動作時のゆるみ等について理解する。			
	6月	8	人体と衣服	衣生活と人体の構造や機能、動作時のゆるみ等の関連について理解する。			
	7月	4	立体構成衣服と平面構成衣服	被服構成には、立体構成と平面構成の二つがあることを理解する。			
夏休み							
2 学 期	9月	8	ミシンの使い方	基本的なミシンの使い方を理解し、習得している。	製作 ワーク シート 期 末 考 査	ワーク シート グ ル ー プ ワ ー ク	発表 ワーク シート ファイ ル
	10月	8	作品製作①	基本的な縫製技術を理解し、製作に生かすことができる。			
	11月	8	作品の仕上げ・発表	作品を完成させ、学習の成果を発表することができる。			
	12月	4	作品製作②	基本的な縫製技術を理解し、製作に生かすことができる。			
冬休み							
3 学 期	1月	6	作品製作②	基本的な縫製技術を理解し、製作に生かすことができる。	製作 ワーク シート 期 末 考 査	ワーク シート 発 表	発表 ワーク シート
	2月	6	作品の仕上げ・発表	作品を完成させ、学習の成果を発表することができる。			
	3月	4	まとめ	1年間の学習の定着を図る。			

担当者からのメッセージ(学習方法など)
授業ごとのワークシートで学習の要点をおさえましょう。実習、授業態度等も評価に含まれます。